【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第４区分
【発行日】平成25年1月17日(2013.1.17)

【公開番号】特開2012-111119(P2012-111119A)
【公開日】平成24年6月14日(2012.6.14)
【年通号数】公開・登録公報2012-023
【出願番号】特願2010-261632(P2010-261632)
【国際特許分類】
Ｂ４１Ｍ　5/382　(2006.01)
Ｂ４１Ｍ　5/50　(2006.01)
Ｂ４１Ｍ　5/52　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ４１Ｍ　5/26　Ｈ

【手続補正書】
【提出日】平成24年11月26日(2012.11.26)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１０】
本発明に係る医療用熱転写記録シートは、支持体であるポリエステル系フィルムの片面に１層以上の塗工層を有し、最上層の塗工層として記録層を有する熱転写記録シートにおいて、該記録層に吸油度（ＡＳＴＭ　Ｄ２８１－３１）が５０ｍｌ／１００ｇ以上のカオリン、及びガラス転移温度（Ｔｇ）が０℃以上であるアクリル系ラテックスを使用し、さらに、記録層塗工面のＪＩＳ　Ｋ　６７６８：1999「プラスチック－フィルム及びシート－ぬれ張力試験方法」によるぬれ張力が３８ｍＮ／ｍ以上であるポリエステル系フィルムを使用し、カオリン１００質量部に対してアクリル系ラテックスを５０～３００質量部配合することを特徴とする。
【手続補正２】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項１】
支持体であるポリエステル系フィルムの片面に１層以上の塗工層を有し、最上層の塗工層として記録層を有する熱転写記録シートにおいて、該記録層に吸油度（ＡＳＴＭ　Ｄ２８１－３１）が５０ｍｌ／１００ｇ以上のカオリン、及びガラス転移温度（Ｔｇ）が０℃以上であるアクリル系ラテックスを使用し、さらに、記録層塗工面のＪＩＳ　Ｋ　６７６８によるぬれ張力が３８ｍＮ／ｍ以上であるポリエステル系フィルムを使用し、カオリン１００質量部に対してアクリル系ラテックスを５０～３００質量部配合することを特徴とする医療用熱転写記録シート。